

区政Now！（令和3年4月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

いしごわい



令和2年、地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」の運用が始まり、わが国においても昨年10月に、「2050年（令和32年）の温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を表明しました。地球温暖化が要因の一つとされる甚大な自然災害が発生する中、持続可能な開発目標（SDGs）の1つである気候変動への対策を講じるには、地球規模で問題を捉えつつ、社会経済活動や日々の暮らしの中で行動を積み重ねることが重要であり、住民に最も身近な基礎自治体の果たす役割がより一層高まっています。

こうした状況を踏まえ、令和3年3月に「荒川区地球温暖化対策実行計画」を策定しました。本計画では、世界的潮流である「低炭素社会」から「脱炭素社会」への転換を目指し、施策の見直し・充実を図りました。

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言は解除されましたが、新規感染者の数は下げ止まりが続いており、油断できない状況です。引き続き、一人ひとりができる感染予防対策の徹底をお願いいたします。

地球温暖化対策実行計画を策定しました。

今回の計画は、二酸化炭素（CO2）以外の温室効果ガス排出量にも焦点を当て、削減目標を再設定するとともに、地球温暖化による気候変動に対する「適応策」についても新たに章を設けました。また、今なお世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスに対する「新しい生活様式」との関連性も踏まえ、施策の見直し・充実を図りました。

具体的に区民の皆さまには、エアコンの使用時間を短くする、冷蔵庫は季節に合わせて設定温度を調節する、シェアサイクルを活用する、テレビ画面は明るすぎないように設定する等、省エネルギー型のライフスタイルを心掛けるようお願いいたします。

また、区では再生可能エネルギー設備や省エネ機器の設置費用を一部助成する「エコ助成交付制度」を実施しています。ぜひご利用ください。

尾久図書館が移転オープンしました。

2月20日、現在整備中の宮前公園内に、尾久図書館が移転オープンしました。「学ぶ、集う、楽しむ」をテーマに、あらゆる世代の方に快適にご利用頂ける居心地の良い図書館です。公園内という立地や魅力を最大限に活かした図書館で、館内は自然の中にいるかのような木のぬくもりが感じられます。また、四季折々の花を眺めながら読書ができる「テラス席」やローズガーデンを一望できる「見晴らしカウンター」があり、お気に入りの席で読書を楽しんで頂くことができます。



施設外観

蔵書規模数は約12万冊で、新たに設けた「シニアコーナー」には、大活字本や、老後の生活・年金・認知症・健康等に関連する蔵書を取り揃えています。

区では平成30年に「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を制定しました。誰もが読書に親しみ、学びながら心豊かに暮らすことのできるまちづくりを目指しています。今後も、多彩な事業を実施し、地域の文化振興拠点としての機能を発揮してまいります。

主な事業

第5回荒川区新製品・新技術大賞を受賞した新製品・新技術の展示を行いました。

荒川区新製品・新技術大賞は、確かな技術と豊かな創造性に基づくモノづくりを積極的に支援していくため、平成24年度から隔年で開催しています。3月11日(木)に「ふらっとにっぽり」において、授賞式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の延長により、授賞式は中止とし、受賞企業の新製品等を紹介するパネル展示を行いました。



最優秀賞の
「ユニボ先生」

今年で、5回目となり、17件の応募の中から、8件の受賞が決定しました。最優秀賞は、対話形式で子どもに算数を教えるロボット「ユニボ先生」が受賞しました。「ユニボ先生」は、コロナ禍での非対面の教育に役立つだけでなく、教育現場の人材不足の解消が期待できることが、高く評価され、受賞に至りました。

区では、区内産業の活性化と、さらなる「モノづくりの街あらかわ」の発展に努めてまいります。

ひとり親家庭の生活を支援するため、区内共通お買物券を配付します。

区では、長期化するコロナ禍の中、特に深刻な影響を受けているひとり親家庭に対して、食料品や生活必需品等の支援として、区内共通お買物券を配付する独自事業を実施しています。

本事業実施時点で、国が実施する「ひとり親世帯臨時特別給付金」の基本給付を既に受けている又は申請をしている方に、区内共通お買物券(児童一人当たり1万円分)を順次発送しています。

区ではこれまで、子育て世帯への独自の臨時応援給付事業や、ひとり親世帯臨時特別給付金の迅速な支給等、様々な支援策を実施してきました。今回は、区内共通お買物券を使っていただくことで、区内産業の商業支援にも繋がりたいと考えております。

引き続き、コロナ禍の長期化で深刻な影響を受けている皆さまに対し、必要な支援を行ってまいります。

荒川自然公園に白鳥が放鳥されました。

平成30年に先代の白鳥が老衰で亡くなって以来、多くの区民の皆さまからの強い要望に応え、約3年ぶりに、荒川自然公園の「白鳥の池」につがいの白鳥とコールドックというアヒルを迎えました。



仲良く泳ぐ白鳥

白鳥を迎えるにあたり「白鳥の池」を、きれいな水に入れ替え、白鳥が生活しやすい環境に整えました。

今後、多くの方に愛着を持ってもらえるように、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、白鳥の名前の募集などの様々なイベントを予定しています。マスクの着用等、感染予防対策をしっかりと行いながら、ぜひ白鳥に会いに来てください。